

2023. 4. 1

鉄筋コンクリート造配筋標準図の改定・公表について

日建連 建築設計委員会（委員長・賀持剛一 大林組執行役員設計本部長）は、この度、2012年に建築業界全体で一般仕様として使用されることを目指して発行した「鉄筋コンクリート造配筋標準図」を2021年9月に続き、2023年4月に改定・公表いたしました。

【背景】

鉄筋コンクリート造建築物における配筋標準図は設計者毎に作成し、利用されてきました。そこで、日建連 建築設計委員会 構造設計部会では、異なる配筋標準図の使用による鉄筋工事の現場での混乱、配筋の誤りを減らすために、統一化した配筋標準図（初版）を2012年に作成・公表しました。

初版の公表から11年が経過し、建設会社、設計事務所でも共通仕様として広く使用され、個別の配筋図の追加依頼、鉄筋工事の現場からの追記要望を受けるようになりました。今回の改定では、2022年4月の「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」第2刷（日本建築学会）が刊行されたことを受け、一般社団法人日本建築構造技術者協会（以下JSCA）と協働して改定作業を行っています。なお、日建連鉄筋コンクリート造配筋標準図は初版同様に「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）、「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」（日本建築学会）、「建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5 鉄筋コンクリート工事」（日本建築学会）、「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」（日本建築学会）を参考に作成しています。

【概要】

2022年4月に刊行された「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」第2刷（日本建築学会）の内容を反映し、以下に示す改定を行っています。

- ・「基礎はかま筋の末端の折曲げ後の余長（図5-1、図5-2-1、図5-3-1、表3-1-3）」
- ・「2本杭以上の場合の基礎、はかま筋と基礎主筋の重ね継手位置（図5-3-2）」
- ・「柱主筋を折り曲げて通し筋とする場合のしぼり勾配（図7-4-1）」
- ・「梁主筋を折り曲げて通し筋とする場合の折曲げ勾配（図8-3-1、図8-3-2）」

今後も建設会社、設計事務所の共通の標準図として普及を図り、実現場における負担の軽減、建設工事の迅速化、ならびに施工品質の確保に更に貢献できると考えています。

○利用の方法については、日建連ホームページトップ画面の「刊行物・資料」コーナーからダウンロード可能です。

本件に関する問い合わせ先

（一社）日本建設業連合会（担当：村野）
e-mail：ken-sekk@nikkenren.or.jp（建築部 設計担当事務局）
東京都中央区八丁堀 2-5-1 東京建設会館